

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町子ども読書活動推進計画策定委員会
- 2 会議日時 令和4年10月 5日(水) 19時00分から
20時15分まで
- 3 開催場所 富士川町教育文化会館 3階会議室
- 4 出席者数
 - (1) 委員 14名
 - (2) 事務局 5名
 - (3) 傍聴者 0名
- 5 議題
富士川町子どもの読書活動推進計画策定素案について
今後の予定について
- 6 委員会内容
 - (1) 開会
 - (2) 委員長あいさつ
 - (3) 協議
 - ①富士川町子どもの読書活動推進計画素案について
 - ②今後の予定について
 - ③その他
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 7 発言の内容
 - ①富士川町子どもの読書活動推進計画策定素案について
事務局 富士川町子どもの読書活動推進計画策定素案について、資料を用いて説明
明※第1章・第2章をまとめて説明

議長 まず、第1章について意見・質問はあるか。

委員 特になし

議長 第2章について意見・質問はあるか。

委員 数値目標について細かい説明があったので、目標値についての試算はわかかったが、文章にその旨記載していただけると数値に対しての裏付けがわかるので、今の説明を追加していただけると理解が深まるかと思う。

議長 先ほどの事務局からの説明を文章化し、数値の説明を入れていただければとのことだが、事務局よろしいか。

事務局 この後、修正等させていただくのでその中で記載させてもらう。

議長 その他、よろしいか。

委員 特になし

事務局 第3章について説明

議長 これからグループ討議に入るにあたり、●（黒丸）箇条書きについて検討するということか。

事務局 記載されているものは、事務局で案として挙げたもの。できること、できないことがあると思うので、意見をいただきたい。

議長 だから●（黒丸）について検討するということか

事務局 そのとおり

議長 検討に入る前に、この部分で質問はあるか。

委員 特になし

議長 では、グループ討議に入るが、それぞれの立場で来ていただいているので、事務局で3グループに分けてもらった。1番（家庭）と2番（地域）を今から19時25分まで、3番（保育施設・学校）・4番（各関係機関と町立図書館との連携）について19時35分まで。それが終わったら各グループの中でまとめて発表していただく。役割はグループ内で決めていただいでスムーズにできるようお願いしたい。事務局よろしいか。

事務局 了承

委員 グループごと討論・まとめ（19時40分まで）

議長 1番の「家庭」における子どもの読書活動の推進について、1班から発表をお願いしたい。

委員（1班）箇条書きがあるが、これに対して取り組みがわかればよいのではということで、この文章の後に事例を使って説明すると、家庭でどんなことを行えばいいかわかりやすくなるという意見があった。親子読書についても、親の感想から「就学前は家で本を読む機会があるが、学校に行くと機会が減ってしまうので、親子読書は親子で本を読む良い機会になる」という声が多い、という学校現場からの声もあった。膝に入れて読んだり、ふれあいの中で読んでもらったりすることも大切ではないかという話もあった。小学校では、読み聞かせを多くしていくという話も出た。

委員（2班）「家庭」の部分で、最初に文言の文末にひっかかってしまった。それぞれの立場から文言が町全体の取り組みのため、この表現なのかと理解をした。他は、1班からもあったとおり、取り組みの具体例についてもとても上手いやり方だと感じた。

委員（3班）箇条書き3の「本を楽しむ時間をつくりましょう」だが、どうしても親御さんは忙しい中、子どもに対して本を楽しむ時間がなかなか難しいだろうと。ゲームやネットの時間をどうしたら読書の時間に割けるかという話があった。12ページの小中学校の取り組みの中には、括弧書きで例が書いてあるので、同じように「休日や就寝前に本を読む時間をつくり

ましょう」などの例を入れると、忙しい親御さんも取り組みやすい状況になるのではという意見があった。

議長 1番「家庭」に対して、それぞれのグループからの意見は、
・取組内容に悩む保護者へ参考になるよう、具体的な事例を掲載していただくこと
・「本を楽しむ時間をつくりましょう」というのはとても大切だが、例として「就寝前」など具体的に追加すると良いのではということ
・親子読書はとても大切なので、就学前から取り組むことを力説してほしいということ
・「家庭」の部分だけ「～しましょう」と文末表現になっているのでこの表記でよいのか
これらが話し合われた内容である。

2番「地域」における子どもの読書活動の推進について3班からお願いしたい。

委員 (3班) 箇条書き1だが、具体的にどのように、待つだけでなく「図書館に行きたい」とさせる取り組みを記載すればよいのではという意見と、もう一つは、これは計画に載せるかは検討だが、図書館に想いのある人が定期的集まって、図書館の快適な環境づくりという中の見直しや提言をしていく仕組みづくりをするのは、利用しやすく、快適な環境づくりには有効なのではないかと意見があった。

議長 2つ目の意見だが、図書館の快適な環境というのは「図書館委員会」とかの名前で常に見直していくようなシステムがあるといいということか。

委員 (3班) 委員会をつくるまでの話にはなっていないが、様々な意見を聴きながら誰にでも利用しやすい環境をつくることのできる仕組みが有効的では、というそこまでの提案である。

委員 (2班) 「児童センター・児童クラブ」という表記について、児童センターの中に児童クラブも含まれ、子育てひろばもある。児童センターだけを表に出し、あとは一括りで活動したらどうかという意見があった。

「ボランティア活動の育成をします」というような文言は、これからの活動にとってもいいと感じた。

委員 (1班)「図書館の環境」について。今の図書館だと、子どもを連れて行くにも静かにできればいいが、大きな声を出してしまうことがある。少し騒いでも大丈夫なのか、そこで本にふれあうことができればよいのではという、図書館への要望。そういう環境をつくってもらえると、より本にふれあう家族が増えるのではないかと。ボランティアの部分だが、ボランティアを募集してもらい、より多くの、いろいろな種類のボランティアがいることで、学校や保育所など様々な施設にも行くことができるので、募集することがいいと強く思った。

議長 2番「地域」に対して、それぞれのグループからの意見は、
・「児童センター・児童クラブ」の表記は、「児童センター」という括りで進めてはどうか
・ボランティアの捉え方について、一考を要するのではないかと。どんなボランティアが活動しているかについても明記すると、計画を見た人がわかりやすいので、工夫をしてほしい、また、町立図書館だけではなく、位置づけをしたらどうか
・町立図書館の快適な環境づくりについては、館内の公開がされていない。いずれ広報などで説明をしようと思うがどんな図書館になるのか
・図書館の快適な環境をつくるために、図書館検討委員会のような意見を取り入れ、見直す機関があるといい
これらが話し合われた内容である。

3番「保育施設・学校」における子どもの読書活動の推進について2班からお願いしたい。

委員 (2班) 学校の取り組みをいくつか挙げていただいているが、現時点でも学校ではこういった取り組みを行っている。明文化することはいいが、現状も含め「このように取り組んでいます、さらに進めていきます」など文言を変えてほしい。今まで取り組んでいなかったのかと捉えられては困るので。

委員 (1班) 保育所では、子どもは本当に本が好きで、ボランティアによる読み聞かせも大好きである。保護者にも子どもと一緒に本を好きになってもらうというところで、大人を巻き込んでいくということは、今、すごく大変だと感じている。保育園から持ち帰った本も家庭では読んでもらえていない部分もあるので、その辺りの大人の協力はどうやっていけばいいのか考えている。

小中学校は、箇条書き7「教職員の選書等に関わる支援を行います」とあるが、誰が支援を行うのか明確ではないので詳しく載せておくというのでは、と意見があった。

委員 (3班) 保育施設のところでは、保育施設として親子の接し方については「図書館に行ってみよう」という提言を、保育施設や学校から呼びかけて発信をしていく項目や、園児に1日1冊貸出しなどの取り組みをするような具体的なものを追加してはいかがかという意見があった。

小中学校のところでは、学校の取り組みとして「総合的な学習」などの時間に、図書館に行くことができれば、それが図書館の利用について学ぶ機会になり、学校以外でも、子どもが自分で「図書館に行ってみよう」と思う機会につながるのではないか。そして図書館を郷土について学ぶ際にも利用するような取り組みができるなら、そのような記載も有効ではないかという意見があった。

議長 3番「保育施設・学校」に対して、それぞれのグループからの意見は、
・子どもの読書活動に、保護者をいかに巻き込んでいくかについて考えていきたい

・「図書館に行きましょう」という呼びかけをしていく、また具体的な取り組み（「1日1冊、本を読もう」など）も追加する

・小中学校については、記載されていることは既に行っているため「今後はさらに推進していく」というような文言を付け加えてほしい

・「教職員の選書等に関わる支援を行います」は誰が行うのか、主語を入れてほしい

・「総合的な学習」がかなりあるので、その時間についてどのように進めていくのか、そのような項目を入れていくと、図書館の利用は多くなっていくということ

・郷土についての学習も同様

これらが話し合われた内容である。

4番「各関係機関と町立図書館との連携・協力」による子どもの読書活動の推進について1班からお願いしたい。

委員 (1班) 保育施設・小中学校・図書館が連携していくことが大切。司書や職員でコミュニケーションを図れるような場を設けていくと、より連携や協力ができるのではないかという意見があった。

委員 (2班) これまでの検討事項で手間取り、この項目まで討議ができなかった

議長 では、個人的な意見をお願いしたい。

委員 (2班) この項目はだいたい具体的な取り組みが記載されているように思う。もし加除修正する部分があるなら皆さんにご意見していただきたい。

委員 (3班) 団体が町立図書館から団体貸出を利用して施設内の図書コーナーを充実させるとあるが、その施設を利用する子どもたちに又貸し的な、例えば、園児が保育園で町立図書館から借りている本を家に借りて帰ることができるのかという要望があった。
個人的な意見ではあるが、4番の「各関係機関と町立図書館との連携・協力」というのを図で表していくとわかりやすいと思った。例えば、中心に町立図書館があって、そこに保育所や小中学校、ボランティアや地域の方が「このように連携して、この計画を実行していく」というものが図でわかるものを、今後付けていくとイメージ的にわかりやすくなると思い発言させてもらった。

議長 4番「各関係機関と町立図書館との連携・協力」に対して、それぞれのグループからの意見は、

- ・小中学校と連携していくことが大切
- ・学校司書と図書館司書とがコミュニケーションを図る場を今後検討し、利用しやすいようにしていくのがいい
- ・図書館の運営について、団体貸出した本が自宅に借りていけるのか検討してほしい

・4番については連携ということを図式化するとわかりやすい
これらが話し合われた内容である。

以上グループで話し合った内容だが、この他に何かあるか。

委員 特になし

議長 事務局でこれらの意見を検討し、次回原案として出されるということ、
また、これらの意見についてすべて網羅されるか内容についても事務局
に任せるということでよろしいか。

委員 全員賛同

議長 事務局からこの件に関して補足説明はあるか。

事務局 特になし

②今後の予定について

事務局 説明

議長 今後の予定については、よろしいか。

委員 特になし

③その他

議長 何かあるか

委員・事務局 特になし

議事終了

閉会